

目標達成計画

作成日: 平成27年 2月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を育てる仕組みが弱く、介護技術や知識について研修実施が必要	介護技術を向上させ、知識を習得しそれをサービスに生かしている。	専門家を施設に招き研修を実施する。外部で実施されている研修に積極的に参加し、習得した知識をサービスに生かせる様にケアに取り入れ、それをカンファレンスで共有し評価する。	12ヶ月
2	44	便秘で下剤を服用したり、座薬、浣腸を使用している方が多くみられる。	下剤、座薬、浣腸を使用する事を最小限にし、食品や運動等の生活習慣を改善することで排便を促す事が出来ている。	ヨーグルト等の乳製品やオリゴ糖などの多糖質を含む食品や、ココア等の食物繊維を含む食品を食事の中に取り入れ排便を促す。排泄チェック表を記録し管理する事で変化を確認し改善を実行する。	6ヶ月
3	47	誤薬やセットミスがあること。	誤薬やセットミスをない。	協力薬局でチェックされた薬を夜勤者が確認し、セットボックスに介護職員がチェックしてセットし服薬時に必ず2名でチェックして服用援助を行う。合計5名の目でチェック確認をする。	6ヶ月
4	47	お客様が服用しているお薬がどういった理由で処方されその効果が確認できていない。	理由がはっきりしていてその効果が出ている事や出ていない事をドクター及び職員が共有できている。	訪問診療時に薬を服用した前後の様子を伝え適切に効果が出ているかどうかを一緒に確認する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。